

救いの未来を語る マタイによる福音書2:1～12

人間の文明の発展に最も大きな貢献をした道具は、コンピュータだと思います。コンピュータによって、人間は一步前進することができましたし、今は、ほとんどのことをコンピュータによって行っています。たくさんの情報がコンピュータの中にあり、この情報を使って、未来のこともある程度は予測することができるようになりました。しかし、過去には、特に、イエス様の時代には、未来のことを予測できる道具はありませんでした。だから神秘的な方法がいろいろあり、今日の福音書に出てくる星に関する物語もその一つでした。イエス様がこの世にお生まれになったとき、夜空は特別なしるしを表しました。それは占星術に関することなので、一般の人々には分からなかったことです。しかし、星について研究をしていた占星術の学者たちは、その特別なしるしは何なのかを推測することができました。「ユダヤ人の王が生まれた。」ということが彼らが推測したことでした。占星術を研究している学者たちは、この世界のすべてがつながっていると主張していました。だから地上で何か重要なことが起こったら、それは天に現れると思いました。逆に天で起こっている驚くべきことも、地上でも現れると思いました。大勢の人々は、この主張を受け入れ、天地がつながっていると信じていました。例えば、ローマの有名な将軍であるユリウス・カエサルが死んだときに、新星が一つ、彼の葬儀場の上に現れたそうです。これを見た人々は、ユリウス・カエサルがパンテオン、すなわちローマ神殿に入って神になったと思いました。このように星の動きは、人々の大きな関心を引き、これを研究する人間の生死と幸・不幸とつながる占星術は、一つの学問として認められていました。特に、この占星術はユダヤの東の方であったバビロンで大いに発達しました。そんなわけで、新しく生まれたユダヤの王を訪ねて、占星術の学者たちがエルサレムに来た時、ヘロデ王とエルサレムの人々は動揺したのです。3節の言葉です。「これを聞いて、ヘロデ王は不安を抱いた。エルサレムの人々も皆、同様であった。」

ヘロデ王は、自分の権力に執着がありました。そして、その執着は、みんなが自分の席をねらっているという被害妄想の虜にしました。このようなヘロデの前に、東の方から占星術の学者たちが現れ、ユダヤ人の王が生まれたという言葉は、ヘロデに不安を抱かせました。ヘロデはこの言葉を確認するために、祭司長たちと律法学者たちを集めました。ユダヤ人の王については、彼らがよく知っていたからでしょう。彼らはヘロデに預言を教えてください。5-6節の言葉です。「ユダヤのベツレヘムです。預言者がこう書いています。『ユダの地、ベツレヘムよ、お前はユダの指導者たちの中で決していちばん小さいものではない。お前から指導者が現れ、わたしの民イスラエルの牧者となるからである。』」

占星術の学者の言葉はそのとおりでした。ユダヤ人の王は預言されたものであり、その預言通り、イエス様はユダヤの地でお生まれになりました。預言は成し遂げられました。みんなを救ってくださるメシアがこの世に来られたのです。ところが、ここで気になることが一つ生じます。それは、なぜ神様はイエス様の誕生を占星術の学者を通してお知らせになり、彼らの祝いをお受けになったかということです。占星術と神様の教えはぜんぜん違いますし、共存することができないことなのでした。しかし、神様は、占星術の学者を通してご自分の御業をこの世に現しました。これについて悩んでいたとき、人間の文明の発達がいよいよ思いつきました。そして当時の状況について考えてみました。当時は、今のように文明が発達していませんでした。コンピュータやインターネットがあることもないし、今のように情報の伝達が簡単な時期でもありませんでした。このような彼らにメシアの誕生を伝えることができる手段は、彼らが知っていること、受け入れることができることだったと思います。すなわち預言と占星術だったと思います。だから、神様は人々が知っていた預言と占星術を通して、イエス様の誕生をお知らせになったのではないかと思います。当時の道具を通して、メシアの誕生を伝えたのです。また、この異邦人である占星術の学者を通して、神様の救いがユダヤ人だけのものではないということも示されました。むしろ、ユダヤ人の王であったヘロデとユダヤ人の指導者であった祭司長や律法学者は、メシアの誕生を妨げようとした。神様は救いの未来を様々な方法によって教えてくださいましたが、人々は受け入れなかったのです。

しかし、異邦人である占星術の学者たちは、メシアの誕生を受け入れて、喜びに溢れました(9-10節)。彼らは星に導かれて行って、メシアに出会うことができました。そして、彼らはイエス様に、黄金と乳香と没薬を贈り物としてささげました。この贈り物は、古代社会で王や神がささげられた物でした。イエス様は異邦人たちを通してお祝いを受けられ、神様は異邦人を通して、この世に救いが臨まれたということを示してくださいました。この御言葉は未来の救いがどのように成し遂げられるかを語ってくださることでした。そして、異邦人である私たちに最も喜ばしい知らせになる御言葉でしょう。今日は1月1日、お正月です。この日によって新たな年が始まります。新しく始まるこの日、神様はイエス様の誕生を通して、救いの未来を教えてくださいました。この救いはユダヤ人だけに与えられたものではなく、異邦人にも与えられたものだということです。みんなのための救いのメッセージ！これが新年礼拝を捧げている私たちに与えられた御言葉です。そして、神様はこれを知らせられるためにユダヤ人には預言を、異邦人には星を、私たちに福音書の言葉を与えられました。救いの喜ぶメッセージがみんなに現れたのです。2023年、今年はこの救いのメッセージが大勢の人々に平和をもたらしますように。救いの未来を語る私たちの教会の上に神様の祝福がありますように、主の御名によって祈ります。アーメン